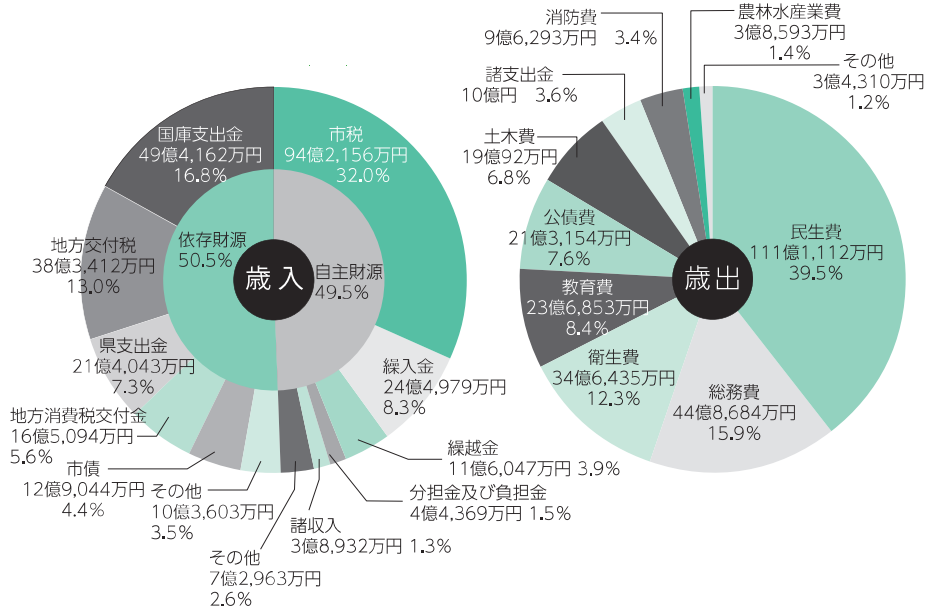


6年度 羽島市一般会計決算

歳入
294億8,804万円

歳出
281億5,524万円



※四捨五入により、積み上げと合計が一致しない場合があります。

6年度決算

旧庁舎解体や扶助費が増
歳入歳出 いずれも増加

令和6年度の一般会計・特別会計・企業会計の決算が市議会
で認定されました。決算状況のあらましをお知らせします。
問い合わせ先 財務課（内線2491）

会計別歳入歳出決算

会計別	歳入（収入済額）	歳出（支出済額）
一般会計	294 億 8,804 万円	281 億 5,524 万円
特別会計		
国民健康保険	72 億 3,886 万円	64 億 1,569 万円
介護保険	64 億 606 万円	62 億 4,203 万円
羽島市・羽島郡二町 介護認定審査会事業	2,407 万円	2,407 万円
後期高齢者医療	10 億 9,484 万円	10 億 6,334 万円
企業会計		
病院事業	収益的収支 54 億 5,226 万円 資本的収支 4 億 4,390 万円	62 億 4,443 万円 6 億 9,520 万円
水道事業	収益的収支 8 億 7,979 万円 資本的収支 5,321 万円	7 億 679 万円 5 億 2,681 万円
下水道事業	収益的収支 15 億 7,971 万円 資本的収支 16 億 2,434 万円	13 億 7,520 万円 21 億 9,716 万円

一般会計

歳入

歳入全体の決算額は294億8804万円、前年度と比べて33億6350万円、約12・9%増加しました。

歳入には、地方公共団体が自主的に収入することができ、市税や手数料などの自主財源と、国や県から交付される依存財源があります。自主財源が多いほど、行政活動の自主性と安定性を確保することができます。

6年度の歳入決算額に占める自主財源の割合は、前年度より0・3ポイント高い49・5%となりました。これは、繰入金の増加によるものです。

歳出

歳出の決算額は281億5524万円、前年度と比べて31億9117万円、12・8%の増加となりました。

内訳は、医療や福祉に係る給付等の民生費が39・5%と最も比率が高く、約111億

円を支出しています。次いで総務費が15・9%、衛生費が12・3%を占めています。

民生費は定額減税補足給付金支給事業の実施等により、前年度と比べて10億7439万円増加しています。

市民1人当たりの負担

市民1人当たりの市税の負担は14万2221円でした。前年度と比べて1418円の負担減となっています。

市債残高の状況

一般会計決算での市債残高（借金の残高）は、約187億円で、前年度と比べて約6億円減少しました。今後も計画的に市債残高の減少に努めます。

経常収支比率（一般会計）

経常収支比率とは、市税や地方交付税などの経常的な収入に対し、人件費や扶助費などの経常的な支出が占める割合のこと、割合が低いほど財政の弾力性があり、自治体独自の施策に充てる財源が多くなると言えます。

特別会計

特別会計のうち、国民健康保険は保険給付費の減などにより、歳出が前年度に比べて2億3095万円（3・5%）減少しました。また、介護保険は、介護給付費の増などから、前年度より歳出が2億7470万円（4・6%）増加しました。

企業会計

独立採算が原則の企業会計には、病院事業、水道事業および下水道事業があります。病院事業会計は、市民病院の経営を安定させるために一般会計から10億円の借り入れを行いました。

